

勝瑞発掘だより

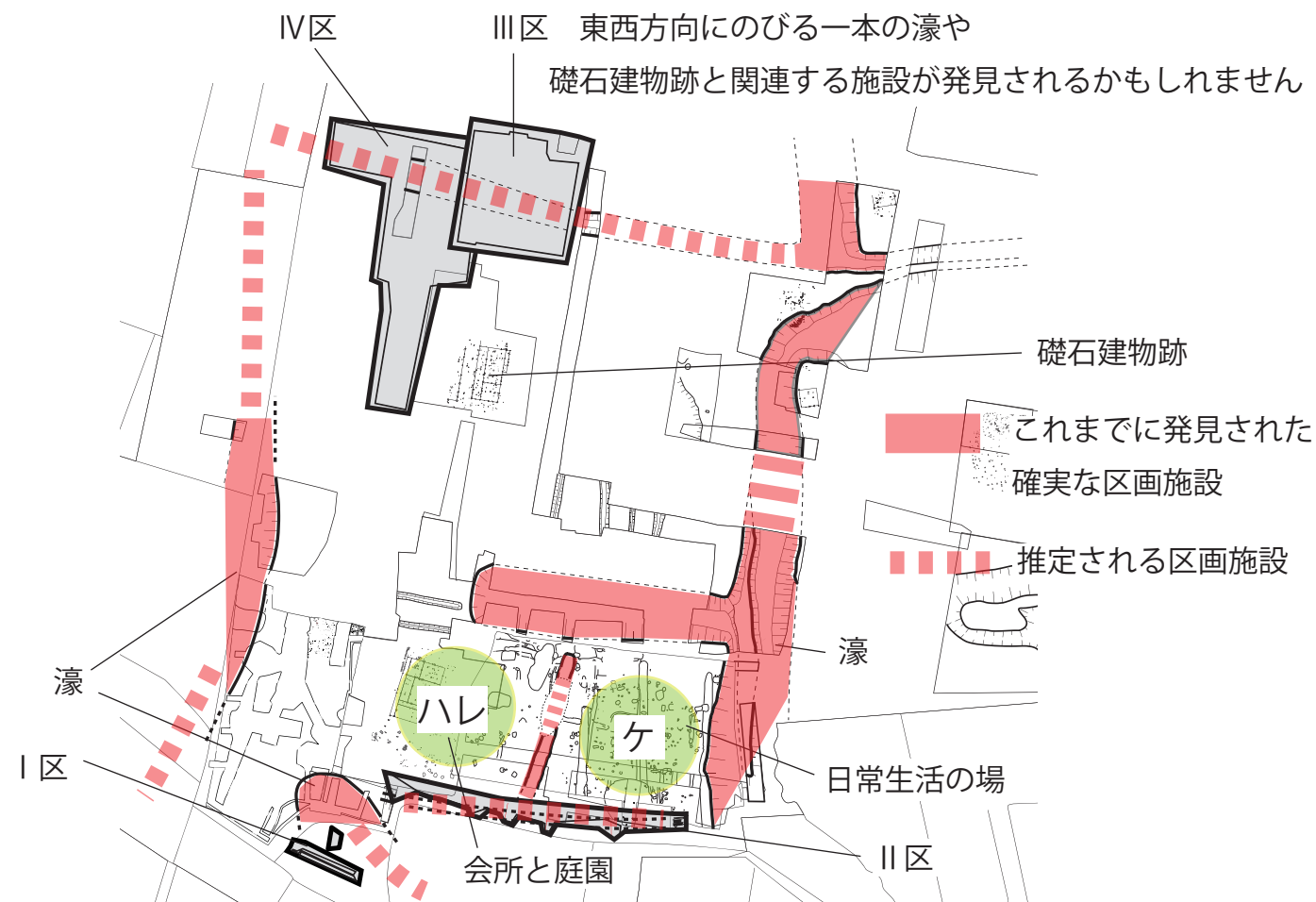
2008 年度 第 1 号

―館跡第 1 4 次発掘調査―

今年も発掘作業が始まりました。

今年度の調査は、館跡での 14 回の調査で、Ⅰ区～Ⅳ区に分けて実施されます。

Ⅰ区・Ⅱ区は南の端、Ⅲ区・Ⅳ区は北西部と、場所は離れていますが、どちらも区画施設（空間を区切るモノ・・・たとえば濠や溝、塀など）があるかどうかを確認するのが目的です。



Ⅰ区は、明治時代の地籍図では「溜池」と表示されており、通称「かじ池」と呼ばれる場所です。

昨年 13 回調査で検出された濠との関連を確認します。



Ⅰ区の作業風景と土層断面

土層断面は地層の上下関係がよくわかります。

Ⅱ区の調査の様子を 少しご紹介しましょう。

ここでは、面積のわりに石の出土が目立ちます。

石は形状や並び方で意味が違ってきます。



出土した石列



ちょうど梅雨時期、どうしても現場に水がしみ出てきます。特に深く掘った場所は水が溜まるので、水中ポンプで排出しながら作業します。

石のほかに、かわらけや銅製品・陶磁器など出土してきています。

これから調査はどんどん進んでいきます。

どんな発見があるか楽しみです。

次回の発掘だよりにご期待ください。

最初の段階・・・機械掘削



by Hiroko.K

藍住町教育委員会 社会教育課 勝瑞城館跡発掘現場事務所
TEL・FAX (088) 641-3466 URL: <http://www15.ocn.ne.jp/~shouzui/>